

国特別史跡

歴史が息づくまち

大湯環状列石



大湯環状列石は、昭和6年に発見された縄文時代後期(約4千年前)の遺跡です。遺跡の中心には万座^{まんざ}・野中堂^{のなかどう}の2つの環状列石があり、組石の下にはお墓とみられる穴が見つかっています。また、環状列石のまわりからは、貯蔵や狩猟のための痕跡が数多く見つかっています。

遺跡からは2万点におよぶ土器や土偶、鐔形土製品^{たけがた}などが出土しており、祈りとマツリの場であると考えられています。縄文遺跡は人類共通の宝として未来へ伝えていかなければならない貴重な文化遺産であり、「北海道・北東北の縄文遺跡



群」の世界文化遺産登録を目指し、関係自治体と協力して取り組みを進めています。



大湯ストーンサークル館

毛馬内盆踊り

国重要無形民俗文化財



主な民俗行事

- 1月2日
大日堂舞楽
- 隔年2月第3日曜日
土深井裸まいり
- 4月25日
松館天満宮三台山
獅子大権現舞
- 5月5日・9月15日
大森親山獅子大権現舞
- 5月14日・15日
尾去沢山神社祭典
- 7月12日・13日
毛馬内月山神社祭典
- 8月7日・8日
花輪ねぶた
- 8月15日
大湯大太鼓
- 8月19日・20日
花輪ばやし
- 8月21日～23日
毛馬内盆踊り
- 8月下旬～9月上旬
花輪の町踊り

秋田県三大盆踊りの一つに数えられる毛馬内盆踊りは、毎年8月21日から3日間にわたって行われます。大太鼓と笛の囃子で踊る「大の坂」と、唄のみで踊る「甚句」の2つで構成され、情緒豊かで、優雅な輪踊りとして平成10年に国重要無形民俗文化財に指定されています。



大湯大太鼓

秋田県無形民俗文化財

大湯大太鼓は、五穀豊穡への祈りと先祖の供養を兼ね、毎年8月15日に演奏されます。太鼓の打ち手は打者1人、補助者3人の4人一組で構成され、勇壮華麗に演じ、直径約1.2メートル、胴長約1.5メートルもの大太鼓15柄が一堂に会し競演を繰り広げる姿はまさに圧巻です。

